

二〇二二年度 入学試験問題

国 語

第一回

【注 意】

- ・ 試験時間は五〇分です。（八時五〇分～九時四〇分）
- ・ 問題は一ページから七ページまでです。
- ・ 解答はすべて解答用紙に記入してください。
- ・ 字数制限のない問題について、一行分の解答らんに二行以上解答してはいけません。
- ・ 記号・句読点がある場合は字数に含みます。
- ・ 解答用紙に受験番号、氏名を記入してください。



洗足学園中学校

1 次の文章を読んで後の問いに答えなさい。

30

25

20

15

10

5

60

55

50

45

40

35

問一

——(1)「機械学習型ではなく、SF映画に登場するヒトのように考える汎用型人工知能はどうか？」とありますが、「機械学習型のAI」と「汎用型人工知能」の違いは何だと述べられていますか。解答らんに三行以内で説明しなさい。

問二

——(2)「何よりも私が問題だと考えるのは、AIは死なないということです。」とありますが、AIが死なないことは問題だと筆者が考えているのはなぜですか。解答らんに七十字以内で説明しなさい。

問三

——(3)「AIの危険性よりも信頼感のほうが大きくなるのは当然です。」とありますが、その理由を筆者はどのように考えていますか。理由としてふさわしいものを次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 「生みの親」世代が自分の子供にあたる世代に伝えたAIの危険性を、子供の世代がさらにその子供である孫の世代に対して緊迫感をもって伝えることができていないため、孫の世代が危険性を理解していないから。

イ いまのコンピュータやAIは「生みの親」世代がかつて誕生を体験したコンピュータよりもはるかに発展した技術であり、その恩恵を受けている「生みの親」世代にもかかわらずのような危険性が感じられにくくなり孫の世代に伝えなくなったから。

ウ 筆者の世代はコンピュータなどの技術が誕生したのを目の当たりしているためコンピュータをまるで子供のように思いよく理解している一方で、孫の世代はコンピュータをよく理解しないままでもまるで親を信頼するように信頼してしまうから。

エ 生まれながらに高性能のコンピュータがある孫の世代は、コンピュータがヒトより賢くなつていく段階を体感していないためAIの危険性を感じていないうえに、AIがヒトの能力を超えていることしか知らないから。

問四

——(4)「X」な命を持っている」とありますが、この部分では命に關して生き物がAIと対照的であることを述べています。Xに入るのにふさわしい漢字二字の言葉を考えて答えなさい。

問五 ——(5)「もしかしたらAIは自分で自分を殺す(破壊する)かもしれないね、人の存在を守るために。」とありますが、人の存在を守るためにAIが自分で自分を殺すとはどういうことですか。解答らんに三行以内で説明しなさい。

問六

A D に当てはまる語を次のア～エの中から一つずつ選び、記号で答えなさい。(ただし記号はそれぞれ一回ずつ使用します。)

ア しかし イ しかも ウ あくまで エ 例えば

問七

——(ア)～(オ)のカタカナを漢字に書き直しなさい。

問八

本文の内容に合うものを次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア AIの普及に伴いAIが間違った使い方をされることも多くなるため、AIは自ら考えるために作られたものであるのに、AI自身で考えられなくなる「主体の逆転」が起こる。

イ ヒトは何かを間違えても、その間違いに気づいて学ぶことを楽しみとしてきたので、AIによって正しい答えを得ることが常によいとは言えない。

ウ 現在のAIが搭載されたタブレットを孫世代と考えた時に、筆者が大学生の時に発売されたマッキントッシュやウィンドウズは二世代前の技術であるため、筆者は自分のことを「生みの親世代」と呼んでいる。

エ 宗教はAIと同様にヒトに大きな影響を及ぼすもので、しかも一度入信すると自らの意思よりもその宗教の考え方に左右されてしまい、場合によっては戦争やテロを引き起こすものである。

2 次の文章を読んで後の問いに答えなさい。

20

15

10

5

55

50

45

40

35

30

25

90

85

80

75

70

65

60

120

115

110

105

100

95

問一

——(1)「怖くなった」とありますが、絵を描くのが怖くなった理由としてふさわしいものを、次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 疎遠そえんになってしまったしおりと同じ趣味しゅみを持つていることをしおりはよく思わず、ますます自分が嫌きらわれることになるから。

イ 絵を描くことを熱心にやらなくなったせいで、絵の上手うまいしおりにとうてい追いつけないと実感せざるを得なくなるから。

ウ 学校内であまり目立つことのない美術部に、「日向ひなた」に飛び込んだ自分が入るのはあまりにも場違いだから。

エ 「日向」のグループにいる友人とは違う趣味を持つていることを知られたら、仲間外れにされてしまうかもしれないから。

問二

——(2)「もう、戻れないのかもしれない。こんなに強くそう実感したのは、これが、初めてだった。」とありますが、葉子がそう思ったのはなぜですか。その理由を解答らんに三行以内で説明しなさい。

問三

——(3)「つぼみがほころぶ」とありますが、植物に関することはを使つた次の一～五の成句の意味を、後の「意味」ア～オの中から一つずつ選び、記号で答えなさい。

一 草の根を分けて探す 二 出藍しゅつらんの誉れ 三 根掘り葉掘り

四 花を持たせる 五 柳やなぎに雪折れなし

【意味】

ア 教えを受けた弟子でしが、その先生よりも優すぐれている。

イ やわらかいものは、弱そうに見えても、かたくて強そうに見えるものよりかえってたえる力がある。

ウ あらゆる方法を使って、すみずみまで探す。

エ 何から何まで、細かいことをしつこく尋ねる。

オ 手柄てがらや名誉めいよをゆずつたりして、相手を立てる。

問四

——(4)「凍りついたような沈黙ちんもく。」とありますが、このときの葉子の気持ちを解答らんに五十字以内で説明しなさい。

問五

——(5)「不審ふしんそうな顔をこちらに向ける。」とありますが、朱里はなぜこのような態度をとったのですか。解答らんに行三行以内で説明しなさい。

問六

——(6)「顔が熱い。なのに、どうしようもなく足元は寒かった。」とありますが、このときの葉子の気持ちとしてふさわしいものを、次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 朱里に対して本心をつらぬく決心をしたものの、仲間と見なされなくなることをおそれる気持ち。

イ 勇気を出して本心を打ち明けたが、朱里に受け入れられる見込みこがなく後悔こうかいする気持ち。

ウ ようやく自分に素直すなおになれたことに興奮しているが、それを朱里に悟さとらせまいと焦あせる気持ち。

エ 朱里に自分の本心を伝えたことで達成感を得ながらも、朱里ともう仲良くできないという喪失感そうしつにおそわれる気持ち。

問七

A ～ D に当てはまる語を次のア～エの中から一つずつ選び、記号で答えなさい。(ただし記号はそれぞれ一回ずつ使用します。)

ア ひりひりと イ ぎよつと ウ ひっそりと エ ぶつりと

問八

本文の内容に合うものを次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア しおりは、数学の宿題を忘れてしまったことをきっかけに葉子とふたりきりで話し、これからは逃げにげずに尊敬できる友達いっしょと一緒にしようと決意した。

イ 葉子は、朱里とは気が合わず好きになれないため少しずつ距離きょりを置きたいと思っており、しおりと仲がいいことを非難びなんされても仕方ないと思っている。

ウ しおりは、中学校入学以降葉子に近づかなくなっていたが、葉子が歩み寄よってくれたことをとまどいながらも嬉うれしく思っている。

エ 朱里は、しおりに対して劣等感れつとうを抱いだいており、しおりを呼び捨てにして仲良くしている葉子の素直さをうらやましく思っている。

